群弓連だより

令和７年９月

126号

群馬県弓道連盟　　発行人　勅使川原　守

【第 79 回国民スポーツ大会関東ブロック大会】

去る８月 17 日に第 79 回国民スポーツ大会関東ブロック大会が ALSOK ぐんま武道館弓道場にて開催されました。酷暑の中での開催となりましたが、本県からは成年男子及び少年女子の 2 チームが本国民スポーツ大会への出場を決めました。おめでとうございます。
今回、システム部会広報担当者として８月 16 日(土)、17 日(日)の２日間、国スポ本選への出場をかけ８都県が集まった文字通り「あつい」ぐんま武道館弓道場にお邪魔してきました。

8 月 16 日(土)　公開練習、審判会議、監督会議、開会式など

朝８時開場。役員の方々が続々と到着し、足早に各担当場所へ向かっていきます。前日 15 日に会場設営・準備は済んでおり、道場内の雰囲気はいつもと全く違います。当日まで役員の方々による会場内の細々(こまごま)とした綿密な最終確認には驚かされました。スムーズな進行のための工夫や分かりやすい掲示物、選手・監督たちへの配慮などが弓道場内そこかしこに見受けられ、準備がいかに大変だったかを物語っていました。

そんな準備万端な会場を一周している間に各都県の選手・監督たちが続々と会場へ到着してきました。選手・監督たちからは関ブロに対する熱気をかなり感じましたが、顔見知りの方たちに会うと皆さん笑顔で挨拶をするなど朗らかな雰囲気の中で公開練習が始まりました。射場の確認や巻き藁で射の確認、監督からのアドバイスなど一気に熱量が上がります。
午後は審判会議や監督会議が武道館会議室で行われたので、その間は少しだけ会場内が落ち着きを取り戻していたように思います。しかし、引き続き最終確認に余念のない役員の方々。今年の暑さはかなり危険ということもあり、熱中症対策も万全にされていました。
控室に入って少し作業のお手伝いをしたのですが、休憩中の選手の方々はそれぞれに道具の確認や仲間とのおしゃべりで笑い声が聞こえたりとリラックス出来ている様子でした。
各会議が終わり、開始式が始まると関係者は一同射場へ。
少年男女による選手宣誓は翌日の関ブロへの意気込みが深く込められていていました。

目次

【第 79 回国民スポーツ大会関東ブロック大会】…ｐ1、ｐ2
国スポ本大会への意気込み…ｐ3　　編集後記、お知らせ…p4

矢渡しは射手・勅使川原県連会長、介添え・田中義裕先生、髙橋香内先生にて行われました。
勅使川原県連会長の矢渡しは本当に素晴らしいものでした。関ブロが安全に行われるようにという勅使川原県連会長のお気持ちが全面に表れていた射で、気迫を感じながらも非常に自然、無駄がなく、観ていたこちらも自然と心が正された気持ちになりました。選手たちの模範になったことはもちろん、参加者全員の士気を上げる素晴らしい射でした。
また、介添えの田中先生、髙橋先生の介添えの所作もとても洗練されていて、射手を支え、矢渡しが無事に行われるために静かに控えているご様子が今回の役員の方々と重なるようで大変感動を覚えました。

8 月 17 日(日)　第 79 回国民スポーツ大会関東ブロック大会

朝 8 時開場。この日もかなり暑くなる予想でしたが、案の定 37 度越えの酷暑日となりました。
10 時。近的・遠的同時に競技開始。
遠的はスケジュール通りに進行していきましたが、近的は順位決定の競射を行うため予定時間より徐々に遅延していきます。3 チームで競射、2 回目も同中など、予定時間など簡単に過ぎてしまうほどの白熱した競射でした。当日、X（旧 Twitter）にて速報を上げましたが、どの競技も接戦の上の結果でした。

最初に総合結果が出たのは少年男子、続いて成年女子。残念ながらともに国スポ本線へ出場はなりませんでしたが、両チームとも本当に素晴らしい射でした。次に少年女子が総合成績 1 位で出場を決め、最後に成年男子。最後まで競射となり、本当に熱い戦いを見せてくれました。
暑い群馬県で開催された今年の関東ブロック大会でしたが、酷暑に負けない選手の熱い思いや監督が投げかける選手たちへの熱意あるアドバイス、観覧席からの拍手や掛け声、役員の方々の細やかな対応を間近で感じ、そこにいた全員の熱い国スポへの思いを改めて感じました。

最終的に大会が終わったのは 17 時過ぎでした。競技終了から閉会式に向けてのわずかな時間で最終集計を行ったり、閉会式後の片づけを遅くまで行ったりと役員の方々は最後までご尽力されていました。
2029 年に本県で開催となります第 83 回国民スポーツ大会【湯けむり国スポ】の準備・リハーサルとしても意義のある開催となったと思います。本当にお疲れ様でした。

「少年少女」監督・選手の意気込み

◆　監督：関上 信也 先生
群馬県の代表として自信をもって、堂々と自分たちの持てる力を発揮してもらえたらと思います。できうる限りのサポートをしていきたいと思います。

◇　町田 朱里 選手

2年生として実力はまだまだですが、これまで練習してきたことを信じて本番で実力を発揮できるように頑張りたいと思います。また、初の全国の舞台で弓が引けることに感謝し、全力で楽しんできます。
応援よろしくお願いいたします。

◇　糸井 未沙 選手

これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに1本1本集中して弓を引いてきます。そして、高校生活最後の大会なので悔いが残らないように楽しんできたいと思います。
応援よろしくお願いいたします。

◇　小林 江美莉 選手

高校弓道最後の集大成としてこれまで学んできた貴重な経験を生かし、最後まで諦めずに弓を引いてきます。また、群馬県の代表として恥じない行動をとり、入賞できるように楽しんできたいと思います。
応援よろしくお願いいたします。

「成年男子」監督・選手の意気込み

◆ 監督：大島　昭先生

地元群馬県での関東ブロック予選という事で、〝何としても国スポ出場権を獲得したい〟この気持ちを選手と共に強く持って練習して来ました。

皆様からの多大なるご声援をいただき、その結果成年男子が3年連続で出場権を獲得する事が出来ました。
次は国スポでの入賞を目指し選手と共に進んで行きたいと思います。

◇　錦 拓弥 選手

チームとしては遠的が強いチームだと思っているので、まずは「外さないこと」「予選を抜けること」を心掛けます。トーナメントで勝ちたいという思いがあるので、賞状は必ず持ち帰るというイメージで頑張ってきます。

◇ 中橋 龍一 選手

本番では日ごろの成果を存分に発揮するために普段以上の力むような心構えや自分を高望みするようなことなく、実力をいつも通り出せるような落ち着いた状態を作っていきたいです。3年連続ということもあるので精一杯会場と試合を楽しめるように頑張りたいと思います。

◇ 柘野 稜介 選手
個人的には「個にならずチームの力」になるような結果を残したいと思っています。チームとしては近的も遠的も決勝トーナメントに行って優勝というのが目指すことです。その気持ちを予選から忘れずに頑張っていきたいと思います。
落ちが一番状況を把握しやすいと思うので、前の 2 人がいつもと違うなと感じたら流れをいい方向に作って 2 人に繋げていけたら、と思っています。

国民スポーツ大会開催!!

国民スポーツ大会・弓道は 9 月 28 日(日)～10 月 1 日(水)の日程で開催されます。皆様、応援をよろしくお願いいたします。

編集後記、お知らせ

前号でお知らせしたとおり、広報部会は新たな組織「システム部会」として活動しています。
業務内容は大きく分けて二つ。
一つは従来の広報活動で、公式 WEB サイトの運用や県連メールの管理、群弓連だよりの編集発行等です。WEB サイトから寄せられる様々な問い合わせ、例えば「弓道を始めたい」「再開したい」といった質問には該当する支部に回答を依頼し、新規会員の獲得に寄与しています。「ID がわからない」「段位を取得した年月日を知りたい」等の質問も多く、ID システム稼働以前に段位取得した場合は、古い弓道誌を調べて回答することも多いです。手間と時間がかかる仕事です。
もう一つはシステム部門。県の射会ではパソコンで射会記録を取っていますが、その仕組みを構築運用しています。8 年ぶりに行われた「国スポ関東ブロック大会」では本格的にデジタル記録を取り入れて、射場記録掲示や速報をモニターで表示する等を行いました。これらを構築運用したのがシステム部会です。
ID システムの管理も重要な業務です。新規会員の登録や住所変更などの異動等はシステム部会が窓口となります。
これらの業務に対応するために役員も増員しました。私たちの業務はバックエンド、表に出ない仕事のため、「何をやってる部会？」と思われている会員の方も多いかと思いますが、県の行事がない日でも、役員はそれぞれの仕事、射会用のエクセルを組んだり、問い合わせに対応したり、会員登録を行っていたりと、日々活動しています。
県連を陰で支える仕事人集団、システム部会を今後ともよろしくお願いいたします。

システム部会：齊藤昌之、稲葉愛、村上拓也、渡部安希子、山口裕子、中条順子、長岡麻子
連絡先：koho01@gunkyuren.com